

「埼玉 150 周年記念／第 2 回埼玉県ボッチャ大会」実施要項

1 目的

ボッチャは、東京 2020 パラリンピック競技大会において競技種目として実施され、日本代表選手が金メダル等を獲得したこともあり、多くの注目を浴びている。この機会をとらえ、ボッチャ大会を開催することで、ボッチャの普及・促進へ繋げる。

また、障害の有無を問わず楽しめるボッチャを通じて、参加者が障害者及び障害者スポーツへの理解を深めることで、共生社会の機運醸成を図る。

2 主催

埼玉県

3 協力

埼玉県ボッチャ協会

4 協賛

日本電気株式会社（NEC）、イオンリテール株式会社、東京ガス株式会社、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行

5 日程

令和 3 年 11 月 3 日（水・祝）

時 間	スケジュール
8:15～ 9:00	受付
9:30～10:00	開会式
10:00～12:30	リーグ戦
12:30～13:00	表彰・閉会式

6 会場

埼玉県立武道館 主道場（上尾市日の出 4-1877）

7 参加条件

- (1) 県内在住、在勤、在学の者に限る。なお、選手の年齢、障害の有無及びボッチャ経験は問わない。
- (2) 1 チームあたり 3～5 人のチームで参加すること。
- (3) ボッチャの基本的なルールを理解していること。
- (4) 「14 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」を遵守すること。

8 募集チーム数

16 チーム

9 参加費

無料

10 申込方法及び出場チームの決定

(1) 「埼玉県電子申請・届出サービス」により申し込む。

https://s-kantan.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=26689



(2) 申込期限は、令和3年10月8日（金）までとする。

(3) 申込チーム数が募集チーム数を上回った場合は、抽選で出場チームを決定する。

(4) なお、参加の可否については、令和3年10月15日（金）までに、申込時に記載のメールアドレスあてに連絡する。

11 競技方法

(1) リーグ戦方式とする。

(2) 1リーグ4チーム、計4リーグ（合計16チーム）で行う。

(3) 4チームの総当たり戦を行い、各リーグで順位を決定する。リーグの順位決定方法は、①勝ち数、②直接対決の勝者、③得失点差の多いチーム、④総得点の多いチームとする。それでも決まらない場合は、各チーム代表者による1球のみのタイブレークにより決定する。

12 競技規則及び大会申合せ事項

(1) 基本的なルールは、「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020 v.2」に則る。

(2) 大会は団体戦とする。

(3) 1ゲームにおける出場選手は3人とし、各ゲーム前に決定する。出場選手の交代については、エンドとエンドの間に審判に申告した場合にのみ認められる。

(4) ランプ（投球補助具）使用選手はアシスタントを用意すること。なお、アシスタントはそのエンドで競技していない同じチームの選手が兼ねることができる。

- (5) 試合前のウォームアップは、1分間または全員が投げ終わるまでとする。
- (6) 1ゲーム2エンドで行い、1エンドあたり1人2球を投げる。ジャックボールはチームの誰が投球しても良い。
- (7) チームの1エンドの持ち時間は4分とする。ただし、障害のある選手が競技するエンドについてはそのチームの持ち時間は5分とする。
- (8) 反則は基本的には取らないが、以下の行為について、審判から注意を促されても繰り返す場合には、ルールに則った反則を取ることがある。

【注意の対象行為】

- ・スローイングライン、スローイングボックスの線を踏んで投球する。
 - ・自分の持ち時間以外にボールを投げたり、投球準備をしたりする。
 - ・ランプ使用選手とアシスタントがエンド中に会話する。
 - ・ランプ使用選手のアシスタントがエンド中にコートを見る。
 - ・ランプ使用選手の明らかな同時投球、自動投球がある。
 - ・控え選手が試合中に選手に助言をする。
- ※今大会は、ランプのスイングの注意、反則はとらない。
- (9) 本大会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別なルールを設ける場合がある。

13 表彰

各リーグの1位チームを表彰する。また、参加賞を設ける。

14 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（障害等に応じて可能な限り実施。）

(1) 全般

- ・マスクを持参し、常時着用すること。
- ・会場内での食事は一切認めない。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」及び埼玉県LINEコロナお知らせシステム（会場内に掲示）を活用すること。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ・他の参加者、主催スタッフ等との距離（可能な限り2mを目安に最低でも1m）を確保すること。
- ・大会中は、大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・その他、感染を拡大させる危険性がある行為は慎むこと。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、運営事務局に対して速やかに濃厚接触者等の有無等について報告すること。

(2) 体調チェックシートの提出

- ・大会2週間前から体調管理及び検温を徹底し、当日、「体調チェックシート」を提出すること。提出できない場合、大会への参加を認めない。

(3) 無観客開催

- ・ 会場に入場できるのは、「体調チェックシート」を提出した次の者に限る。
 - ア 選手
 - イ 選手の競技アシスタント ※ランプ使用選手1人につき1人まで
 - ウ 選手の付添い者 ※必要な場合は選手1人につき1人まで
 - エ 大会運営スタッフ

(4) 受付

- ・ 受付は、①消毒・検温、②体調チェックシート提出、③リストバンド着用の順にチームごとに行う。
- ・ 検温の結果、37.5℃以上あるいは平素の体温より高い場合、又は、風邪症状がある場合は、入場を認めない。
- ・ なお、会場への再入場時は、係員へリストバンドの提示を行うこと。

(5) 競技中の注意事項

- ・ 試合中も、マスク、フェイスシールド等、口元を覆う物を着用すること。
- ・ エンドごとに、手指のアルコール消毒を実施すること。

15 その他

- ・ 主催者、協力団体及び協賛団体が撮影した写真や動画は、後日、主催者の広報活動等に使用される場合がある。また、報道関係者等の取材があった場合は、新聞やテレビ等のメディアで報道される場合がある。
- ・ 本大会は、感染拡大の状況に応じ、中止とする場合がある。

16 事務局（問合せ先）

埼玉県福祉部障害者福祉推進課 障害者スポーツ担当

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂 3-15-1

電 話 048-830-3303

F A X 048-830-4789

メール a3310-02@pref.saitama.lg.jp

以上